

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2011.12  
220

### 2011年ありがとうございました

2011年も終わる頃としております。今年は東日本大震災やタイの洪水等々で弊社のみならず日本国内の人たちにとって苦難の年でありまして、お客様や皆さんのご協力により売上においては挽回しそうな勢いでありがたいことです。

イナテックにとって、今年はTPMのベースを確立する一ヶ年でした。TPM活動におきましては、2012年10月31日までにTPM賞審査委員会に審査申入れを行います。

そして2013年3月度に第一次審査を受けます。一次審査はTPM推進責任者、管理者及びスタッフ層の理解度、活動状況を中心に現場審査が実施されます。

第一次審査が合格すると2013年7～9月の間

で第二次審査が行われます。そこでは現場での活動展開、定着状況を中心に全員参加の活動状況の審査が行われます。そして、『TPM優秀賞』を目指すわけです。

目標は明確になりました。皆で「力」を合わせ活気溢れるイナテックにいたしますので宜しくお願いいたします。

### TPM活動板の見える化から見える化への

TPM活動板を『見える化』に変えていくこと10月号で提案させていただきました。

そのメッセージに対して内定者のT.O.さんより学ばせていただいた「見える化」への考え方を紹介させていただきます。

今月の社長のメッセージにもあったように「手書き」には多くのメリットがあるように思われます。紙を手書きで頂いた場合、温かみのあるものを感じますし、勉強する場合、書くことで記憶に残りやすくなります。現在行っている実験ではノートはボールペンを使って書き、データの書き直しも全て残しておきます。結果をまとめた時に、その書き直したい部分に実は正しい値が出

ていたと言つ事があるからです。

またつい最近で言えば、調査で得たデータをPCに入力するのですが、入力されていた過去の電子データにはおかしな値がいくつかあり、手書きの基データやその時に書いたメモから正しい値に修正する事ができました。

イナテックの皆さんの活動板にはどのような事が書かれているかは知りませんが、確かに手書きでプロセスの残された丁寧な記録こそ本当の見える化なのだと思えます。

等々の感想を送っていただきました。

私の反省点は

- PCで清書することの多
- 本来のデータが見えなくなっている点
- プリントアウトの紙の多
- 管理する人の「気」が入っていない
- データを数値で言えなくなってきたりなど色々な弊害があります。

活動板だけでなく、色々な報告のデータを見るとPCで清書されたものが多いように思います。

この内定者の方の意見を素直に受け止め実行しようではありませんか。『見える化』をいベクトルを合わせ活気溢れるTPM活動にしま

すので皆さんご協力を宜しくお願いいたします。

## 日本人も見習いたい我々の仲間

社報でも紹介したように王世剛君が結婚をいたしました。彼は婚姻届を出ただけで結婚式も新婚旅行もしていません。

そして未だに東日本大震災の方々に毎月自分の給与から寄付をしてみえます。

又、イナテックに就職してからこれも毎月中国本土の御両親に仕送りをしてみえるようです。

自分たちの新婚生活を節約し、自分を生み育てていただいた両親への感謝の気持ちだそうです。

そして不運にも不幸にあわれた方々へ寄付をされ自分たちが安全で幸せなことへの感謝の気持ちのようです。

それに引き換え我が日本では、自分中心で両親の元で飯付き、部屋付き、掃除付き、電気代も面倒見ていただいている人が少なくありません。

もう一度、王さんのような行動に学ばせてい

ただいで少しでも近づきたいと思えます。王さんありがとうございます。

## LEXUSのデータ

『V型10気筒、4.8リッターの排気量を持つビックなスポーツ・エンジン、チタン製コ

ンロッド、超軽量ロッカーアーム、レッドゾーンは9000回転。直線的な官能の叫びを上げながら圧倒的に加速を続ける。V10の澄んだ高域サウンドの彷徨が聞こえてくる。

『圧倒的な加速と異次元の速さに驚愕。』とCAR TOP MOOK誌には記されています。